

介護予防事業と 生活支援体制整備事業について

高齢者支援室地域包括ケア推進係
令和3年11月18日

1. 10筋体操グループの現状

コロナ前後のグループの推移

コロナ前（2020年以前）は、市内各所にグループが設立されていましたが、コロナ流行とともに活動自体が自粛。沈静化している今は、活動再開団体も増えていますが、総数としてはコロナ前より減少。

	コロナ前	コロナ後
団体数	36	33
参加者数	489	394

2. 常設通いの場スタートアップ補助事業

1. 住民からの相談を受け、専門職につなぐことのできる相談体制を有する通いの場に対し、立ち上げや運営にかかる費用の一部を補助するもの。
2. 「常設」「スタートアップの2年間限定」に絞って、市、社会福祉協議会と協働が可能な人材・団体の発掘・育成を目指すところに特色。
3. 年齢や対象者を問わない常設の通いの場を整備することは、多世代交流が促進されるだけでなく、地元企業との連携や空き家・空き店舗対策等にもつながる。
4. 補助団体紹介
 - (1) 仙川POSTO【写真】
 - (2) しばさき彩ステーション【動画】

POSTOの風景



3. つながり創出による高齢者の健康増進事業

1. 調布市・電気通信大学・アフラック（株）の産学官連携によるもので、デジタル活用や子供や若者を巻きこんで高齢者の“つながり”を創ることにより、デジタルデバイド解消、健康寿命延伸と主観的幸福度の向上を目指している。その手始めに、「シニアの健康長寿に向けた実態調査」アンケートを来年1月以降に実施し、その結果分析を踏まえて、実証実験へとつなげていく。

2. プロジェクト概要資料（別紙1）

4. 生活支援体制整備事業

1. 令和2年度生活支援体制整備事業報告書（別紙2）を参照
2. 第1層支え合い推進員の報告
 - （1）セカンドライフ応援キャンペーンの展開（P15～P16）
 - （2）企業CSR活動と地域活動のマッチング～スマートフォン講座～
（P4～P6）
3. 第2層支え合い推進員の報告
 - （1）「高齢者の地域交通」をみんなで考える
～地域交通ふれあい号～（P7～P10）
 - （2）「助け合い」の仕組みを地域で考える～たまの手～
（P11～P14）